



### 1 浜千鳥の碑

青い月夜の浜辺には一で始まる童謡「浜千鳥」の歌は、大正八年鹿島鳴秋によって作られ、今も日本の抒情歌の名曲として歌い継がれています。この詞は鳴秋が柏崎に住む旧友を訪ねた折、裏山から番神の海岸を散歩しながら、初夏の海の印象を歌にしたものと云われています。大正九年、弘田竜太郎によって作曲され、全国的に愛唱されるようになりました。



### 2 潮風園木喰佛

木喰佛三体（市指定文化財・彫刻）は光背を含めていずれも銀杏の一本造りで台座は中央の大日如来が蓮台に、他は木喰仏独特の、幾何学的デザインを配した台座に乗せられている。小堂ながら風格のあるこのお堂は、多くの方の寄付によって昭和5年に建てられたもので、我が国の「木喰堂」としては草分け的な存在となっている。（現在、柏崎市立博物館に展示中）



### 3 共同洗濯場

この井戸は、明治の後期に石油採掘のために掘ったとされ、水温も高く、大量に湧き出ており、地元の人ばかりでなく遠くの人も大勢利用した。



### 4 ねまり地蔵

延命地蔵菩薩で立地蔵と同じく市内東輪海岸に見られる安山岩質の岩石で造られている。高さ184cm、豪快なつくりで火除け地蔵の別名がある。



### 5 かしわの大樹

鶴川の河口から少し上流のあたりに漁師の船着場があり、そこから見える向こう岸になんご沢（レング坂）、その頂上付近には、大きなかしわの木がそびえ、遠く海上に手こぎの船でかしわのさきをゆく漁師の大切な目印となっていた。この「かしわの大樹」が柏崎の名前の由来とも言われている。



### 6 馬のつなぎ石

元池田医院の門前にある。かつて荷馬車の往来が激しかったころ、馬の引き綱をつなぎとめる為に用意されたもの。大正の頃サイドカーや馬に乗って往診した入沢ドクトルの設けたもので、現在もまだ大切にされている。



### 7 立地蔵

天保12年（1841年）埋没部分の発掘によって、薬師三尊像脇侍に日光・月光菩薩像が存在する事がわかった。三尊が一石に彫られた薬師像は他に類がない。



### 8 星野藤兵衛の墓（妙行寺）

豪商であり、勤皇の士といわれた星野藤兵衛は、北陸戊辰戦争の際新政府軍に働きかけ、柏崎を戦火から救うために奔走した。新政府軍は、妙行寺に入り本陣とした。この間、藤兵衛は兵糧92万食をはじめとする軍資を提供し、長岡会津の戦闘もここを本陣として行われた。妙行寺には、藤兵衛をはじめ加賀藩士の墓や駐屯兵の落書きが本堂に残されている。



### 9 柏崎勝長邸跡（香積寺）

室町時代に榎並左衛門五郎が作り、その後世阿弥が改作して完成した狂女物の謡曲「柏崎」の中に登場する柏崎勝長の館跡が、香積寺にある。柏崎文化発祥の源として古くから旅愁の的になっている。



### 10 柏崎温泉井戸跡

昭和24年柏崎温泉会社創立、裏浜の温泉掘削に成功した。湯の町として発展する今は無くなったが湯元館、大丸温泉などでは大勢の人が温もりを得た。



### 11 生田萬の墓碑&供養碑

生田萬は上州館林の藩士で、天保7年（1836年）柏崎の山田小路に桜園塾を開き和学を教えた。天保8年、連年の飢饉のため米の値段は高騰し、悪徳商人や役人の無策に腹を立て、同志6人と柏崎陣屋に斬り込んだが、敗れ海岸で自害した。



### 12 甲子園出場記念碑（柏崎高校）

2002年3月22日斑鳩高校と対戦。柏の葉をモチーフにし好学意欲とスポーツの意気込みをイメージしたものです。グループに包まれたボールは、チームワークと人との協調を表し、若い芽が伸びることを願ったものである。



### 13 悪田の渡し跡

昔鯖石川に渡しがあって、舟番を置いて渡し賃を取り旅人を渡していた。ここは北国街道の要路であり佐渡の金を江戸へ運ぶ大事な道であった。



### 14 閻魔堂

閻魔市のお堂。現在地は町の東にあった「木戸」の門外で、旅人や浮浪者の宿に利用されたと言われている。江戸中期には、馬市がたつたが、天保期頃から馬市に変わって旅商人、見世物、博徒の集う節季市が開かれるようになった。現在のお堂は、明治29年に4代目篠田宗吉によって建てられた。現在縁日は6月14日～16日に開かれている。



### 15 柏崎誕生の碑（北国街道道標）

本町八丁目の角に「右三国通」の道標があり、ここが小千谷や十日町に行く街道の分かれる地点だった。この道標は今も柏崎ふるさと人物館の入り口の脇に移設されている。



### 16 三階節（専福寺）

全国に知られている三階節は、十代將軍徳川家治の時代に盆踊り唄として流行した。専福寺三代目のお坊さん「しげさ」の法話は大変うまく近く人々が説教のありがたさを説いたのが始まりと言われている。



### 17 釈迦堂跡

元柏崎病院前の空き地に六地藏を伴った阿彌陀三尊像が建っている。隣に貞心尼の歌碑が建てられている。貞心尼は良寛の没後、ここにあった釈迦堂に住み、良寛の歌の整理をしていたと言われている。その後釈迦堂の火災後は真光寺脇に建ててもらった不求庵に住まわれたと伝えられている。



### 18 新潟県立柏崎高等学校開校の地

明治33年には、県立高田中学校柏崎分校（旧制柏崎中学校）が福厳院を仮校舎として開校した。



### 19 常福寺（裸押し合い撒与祭り）

柏崎に春を告げる常福寺の撒与祭りは、毘沙門天のお祭りです。3月3日五穀豊穡と身体健全の祈りを込めて年男によって撒与される。お供え物の米俵や枡などを裸身の若者達が「サンヨ・サンヨ」のかけ声と共に押し合い奪い合った。残念ながら1966年以降、中止された。



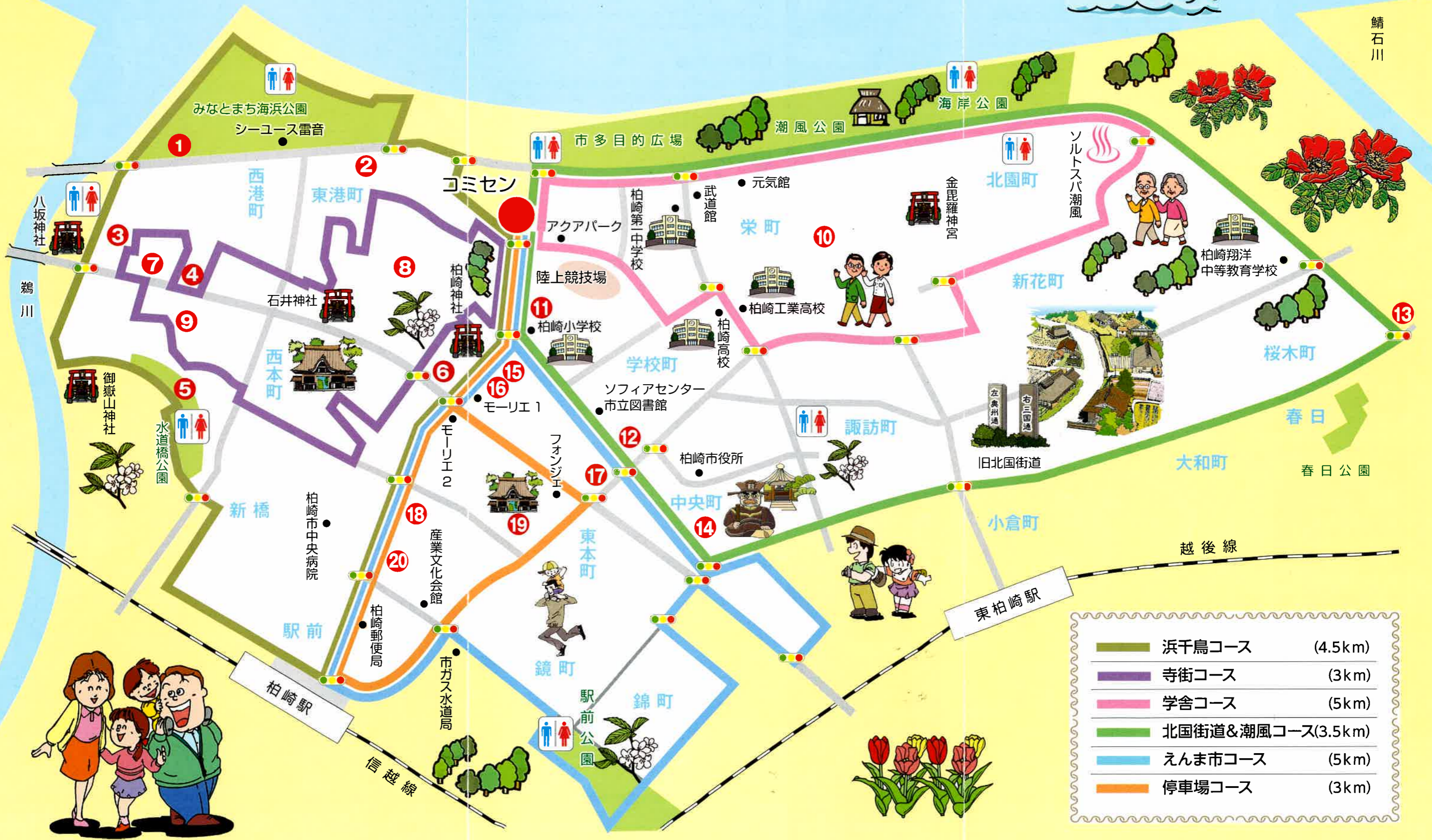
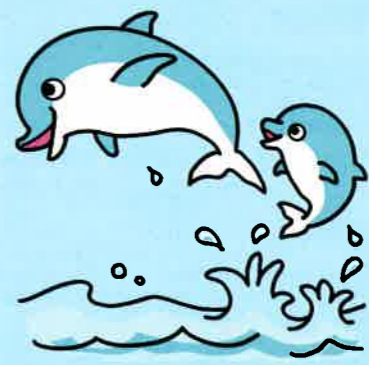
### 20 貞心尼歌碑

柏崎駅から海岸線を結ぶ通称潮風ロードの商店街のアーケード下には、加賀の千代女、京都の連月尼とともに幕末女流三大歌人と言われている「貞心尼」の歌碑12基が建立されている。（平成4年度国土庁が3年かけて建立）

# 道草

## 柏崎市中央地区

# 中央地区ウォーキングマップ



	浜千鳥コース	(4.5km)
	寺街コース	(3km)
	学舎コース	(5km)
	北国街道&潮風コース	(3.5km)
	えんま市コース	(5km)
	停車場コース	(3km)

